情報提供資料
2023年12月

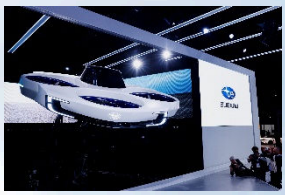
2024年の見通しと注目銘柄のご紹介

<モビリティ・イノベーション・ファンド>

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。当資料では、ポートフォリオ・マネージャーによる2023年の振り返りと2024年の見通し、ポートフォリオ・マネージャーが注目する組入銘柄、ジャパンモビリティショー2023で見られた最新のイノベーションについてご紹介させて頂きます。

当資料のポイント

1. ポートフォリオ・マネージャーによる **2023年の振り返りと2024年の見通し**
2. ポートフォリオ・マネージャーが **注目する組入銘柄**
3. **ジャパンモビリティショー2023で見られた最新のイノベーション**



ポートフォリオ・マネージャーによる 2023年の振り返りと2024年の見通し

当ファンドの年初来のパフォーマンスについて

2023年は、3月に米シリコンバレーバンクの経営破綻を発端に金融システム不安が台頭した局面や、10月に米長期金利が上昇した局面では、株式市場は軟調に推移し当ファンドの基準価額は下落しましたが、年初来（2022年12月30日～2023年11月30日）の期間では、インフレ圧力の鈍化を背景とした利上げ終了観測などが好感される中、当ファンドの組み入れるモビリティ関連企業の株式が概ね堅調に推移し、当ファンドの基準価額の騰落率は+22.6%となりました。

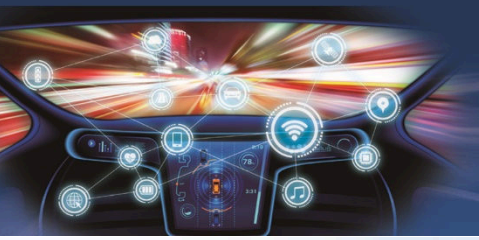
設定来の当ファンドの基準価額の推移

※基準価額は1万口あたり、信託報酬控除後の値です。2023年11月末まで分配を行っていません。

出所：ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシー、ブルームバーグのデータを基に、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成
※上記は作成時点のコメントであり、今後予告なしに変更される場合があります。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなることがありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。 ●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。 ●当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は
BNY MELLON INVESTMENT MANAGEMENT
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号
[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会



2024年の見通しと注目銘柄のご紹介

<モビリティ・イノベーション・ファンド>

情報提供資料
2023年12月

ポートフォリオ・マネージャーによる 2023年の振り返りと2024年の見通し（続き）

政策的な後押しなどを背景に、今後もEVや自動運転技術の普及が期待される

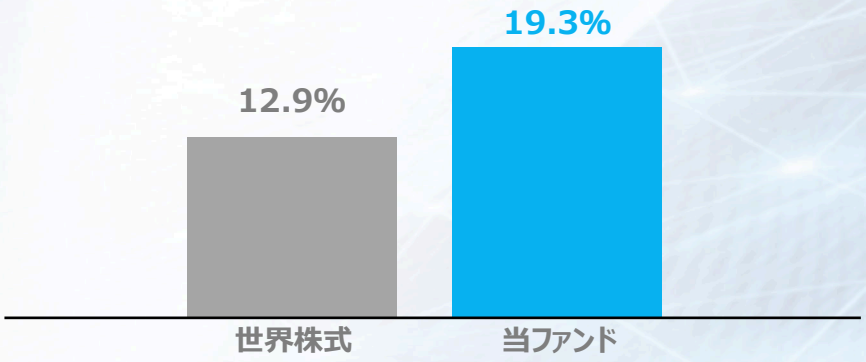
当ファンドのリード・ポートフォリオ・マネージャー
ロバート・ツォイテン

米国のEV市場において、テスラは依然として高い存在感を放っているものの、様々な自動車メーカーから新型EVが投入される中、市場シェアには低下圧力が見られます。また、世界の自動車販売を牽引する中国においては、新エネルギー車の販売が引き続き堅調な一方で、新型モデルの投入や需要喚起のために値下げが行われるなど、競争激化と収益面での逆風が懸念されます。しかしながら、**米国の自動車販売については、在庫水準が回復傾向にあり過去の通常期の水準へと近付いてきていることや、米国をはじめとする主要市場においてEV（電気自動車）の販売増加につながる政策が打ち出されていることなどが自動車分野にとってサポート材料になると考えています。**

また、**2030年には新車販売台数のうち4台に１台がEV（BEV（バッテリー式電気自動車）・PHEV（プラグインハイブリッド自動車）を含む）になり、新車販売台数の約8割が自動運転レベル2以上に対応すると予測されており、今後も長期的にガソリン車からEVへの移行、自動運転技術の普及が継続すると見られます。こうした状況がモビリティ分野の長期的な成長機会を創出すると考えています。**

足下の予想EPS成長率

（2023年11月末時点）

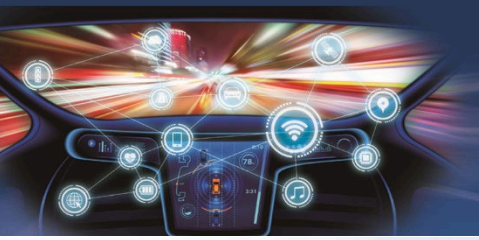


※向こう3-5年の年率換算値
※世界株式：MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス

出所：ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシー、ブルームバーグのデータを基に、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成
※上記は作成時点のコメントであり、今後予告なしに変更される場合があります。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなることがありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。 ●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。 ●当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は
BNY MELLON INVESTMENT MANAGEMENT
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号
[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会



2024年の見通しと注目銘柄のご紹介

<モビリティ・イノベーション・ファンド>

情報提供資料
2023年12月

ポートフォリオ・マネージャーが注目する組入銘柄

2024年に注目する分野として、今後さらに普及すると考えられるEVや自動運転技術に関連する企業に着目しています。当資料では一部の関連銘柄についてご紹介いたします。

アンシス（米国）　テーマ：車のIT化

設計図から構造解析するシステムを提供、仮想運転システムが自動運転技術の向上に活用される

様々な業界のエンジニアリング分野で利用されるシミュレーションソフトを開発する企業です。5G（第5世代移動通信システム）や半導体などに加えて、モビリティ分野では、EVやADAS（先進運転支援システム）および自動運転車などのシミュレーションにおいて同社のソフトウェアが活用されています。

シミュレーションを活用することで、コスト削減を行いながら技術革新が行えることから、モビリティ分野に限らず様々な分野で同社ソフトウェアの活用が期待されています。

同社の直近3年間の株価
（期間：2020年11月30日～2023年11月30日）

BYD（中国）　テーマ：EV（電気自動車）

EVメーカーながら車載電池の開発と製造も手掛ける。中国国外での販売拡大を目指す

中国を代表するEVメーカーです。EVの製造コストに占める車載電池の割合は大きく、メーカーにとって競争力に最も影響する部分ですが、同社は車載電池を自社グループ内で開発、製造していることから、コスト面で優位にたっています。

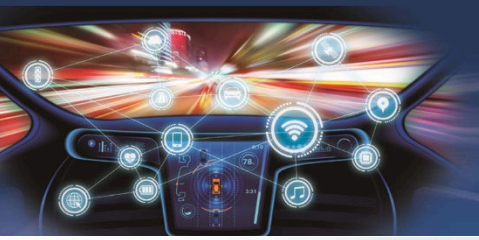
同社は中国国内を中心に売り上げを大きく伸ばしている中、欧州および日本を含むアジア太平洋地域での販売拡大も強化しており、同社の一段の成長が期待されます。

同社の直近3年間の株価
（期間：2020年11月30日～2023年11月30日）

出所：ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーのコメント、ブルームバーグのデータを基に、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成
※上記は銘柄を推奨するものではありません。また、今後の組入を保証するものではありません。※上記は作成時点のコメントであり、今後予告なしに変更される場合があります。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなることがありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。 ●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。 ●当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は
BNY MELLON INVESTMENT MANAGEMENT
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号
[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会



2024年の見通しと注目銘柄のご紹介

<モビリティ・イノベーション・ファンド>

ポートフォリオ・マネージャーが注目する組入銘柄（続き）

モービルアイ・グローバル（イスラエル）　テーマ：自動運転車

先進運転支援システム、自動運転システムに特化。中国の自動車メーカーとも提携を開始

インテル傘下の自動運転技術開発企業です。ADAS（先進運転支援システム）やAV（自動運転システム）など自動車向けソリューションを手掛けています。

23年9月に、中国最大級の自動車メーカーFAWグループ（第一汽車集団）と中国市場でソフトウェア、ハードウェア、テクノロジー製品における戦略的パートナーシップを結びました。同社は、今後も自動車や歩行者の安全性を高める機能に対する需要や、そうした機能の物流における活用が期待される中で、長期的な恩恵を受けると考えます。

同社の上場来の株価
（期間：2022年10月26日～2023年11月30日）

エヌビディア（米国）　テーマ：自動運転車

自動運転用半導体が多くの自動車メーカーに採用

GPU（画像処理半導体）開発のリーディングカンパニーです。同社は、大規模データセンターやAI（人工知能）の中核技術を手がける企業であり、短期的な競争懸念は小さいと考えています。足下では、「チャットGPT」などの生成AIが必要とする複雑な演算能力の拡大に伴い、同社のデータセンター向け半導体は、業績を大きく伸ばしています。

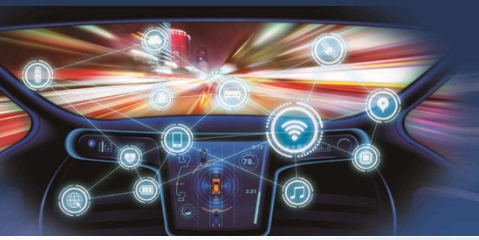
また、データセンター向けのみならず、同社は自動運転用半導体を手がけ、中国のEVメーカーBYDをはじめ、多くの自動車メーカーに採用されています。そのため、今後の自動運転技術の普及の長期的な恩恵を受けると考えます。

同社の直近3年間の株価
（期間：2020年11月30日～2023年11月30日）

出所：ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーのコメント、ブルームバーグのデータを基に、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成
※上記は銘柄を推奨するものではありません。また、今後の組入を保証するものではありません。※上記は作成時点のコメントであり、今後予告なしに変更される場合があります。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなることがありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。 ●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。 ●当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は
BNY MELLON INVESTMENT MANAGEMENT
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号
[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会



2024年の見通しと注目銘柄のご紹介

<モビリティ・イノベーション・ファンド>

ポートフォリオ・マネージャーが注目する組入銘柄（続き）

スズキ（日本）　テーマ：EV（電気自動車）

インドで高い自動車シェアを誇る。今後はEVや次世代モビリティにも注力

軽自動車を中心に取り扱う自動車メーカーです。国内での比較的安定したビジネスに加えて、経済発展が期待されるインドにおける、同社の自動車シェアは非常に高く、同国の成長とともに今後の売上の拡大が期待されます。

EVへの移行については遅れが見られるものの、同社はインドでEVを製造するとともに、同国をEVの輸出拠点に位置付け、今後数年以内での市販化を計画しています。

同社は次世代型モビリティにも成長機会を見出しており、2023年10月に開催されたジャパン・モビリティショー2023では、次世代四脚モビリティ「MOQBA（モクバ）」を発表し、注目されました。

同社の直近3年間の株価
（期間：2020年11月30日～2023年11月30日）

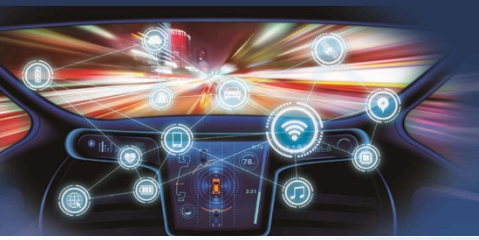
ジャパンモビリティショー2023でスズキの発表した次世代四脚モビリティ「MOQBA（モクバ）」
画像出所：ZUMA Press/アフロ

ジャパンモビリティショー2023について詳しくは次のページへ

出所：ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーのコメント、ブルームバーグのデータを基に、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成
※上記は銘柄を推奨するものではありません。また、今後の組入を保証するものではありません。※上記は作成時点のコメントであり、今後予告なしに変更される場合があります。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなることがありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。 ●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。 ●当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は
BNY MELLON INVESTMENT MANAGEMENT
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号
[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会



2024年の見通しと注目銘柄のご紹介

<モビリティ・イノベーション・ファンド>

ジャパンモビリティショー2023で見られた最新のイノベーション

自動運転社会が実現すると
「移動空間で何ができるかがモビリティーの価値になる」
（ジャパンモビリティショー2023のホンダ三部社長のコメント）

2023年10月25日に「ジャパンモビリティショー2023」が開催されました。東京モーターショーから名称を変え、4年ぶりに開かれた国内最大の展示会ともあり、高い注目を集めました。国内外の自動車メーカーが次世代自動車を披露するとともに、空飛ぶクルマや四脚モビリティなども発表されました。

ホンダの自動運転車両「クルーズ・オリジン」
画像出所：本田技研工業株式会社

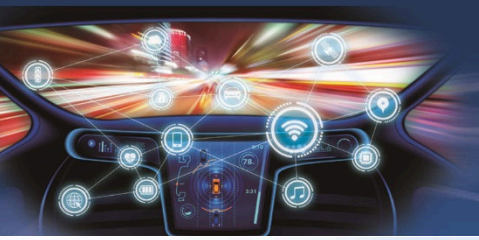
日産のEVコンセプトカー「Nissan Hyper Punk」
画像出所：ZUMA Press/アフロ

メルセデスベンツのEVコンセプトカー「Concept EQG」
画像出所：アフロ

※上記は銘柄を推奨するものではありません。また、今後の組入を保証するものではありません。※上記は作成時点のコメントであり、今後予告なしに変更される場合があります。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなることがありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。 ●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。 ●当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は
BNY MELLON INVESTMENT MANAGEMENT
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号
[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会



2024年の見通しと注目銘柄のご紹介

<モビリティ・イノベーション・ファンド>

情報提供資料
2023年12月

スバルの空飛ぶ車「SUBARU AIR MOBILITY Concept」
画像出所：ロイター/アフロ

レクサスのEVコンセプトカー「LF-ZC」
画像出所：ZUMA Press/アフロ

Joby Aviationの空飛ぶ車「Joby」
画像出所：ロイター/アフロ

ソニー・ホンダモビリティのEVコンセプトカー「AFEELA」
画像出所：AFP/アフロ

※上記は銘柄を推奨するものではありません。また、今後の組入を保証するものではありません。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなることがありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。 ●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。 ●当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は
BNY MELLON INVESTMENT MANAGEMENT
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号
[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

＜ファンドの特徴＞

・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界の金融商品取引所等に上場している自動車関連企業の株式に投資する。
・マザーファンドの実質的な運用は、ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシー*に運用の指図に関する権限を委託する。

*ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシーは、BNYメロン・グループ傘下の運用会社グループであるニュートン・インベストメント・マネジメントの北米拠点です。ニュートン・インベストメント・マネジメントは、グローバルな株式、債券、マルチアセット等の多岐にわたる資産クラスの運用スペシャリストです。

本社：米国ボストン

＜投資リスク＞

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として内外の株式への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「株式の発行企業の信用リスク」、「為替変動リスク」、「流動性リスク」、「特定業種・テーマの集中投資に関する留意点」などがあります。※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

＜お申込みメモ＞

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	＜分配金受取りコース＞ (新規購入時)10万口以上1万口単位　　(追加購入時)1万口単位 ＜分配金再投資コース＞ (新規購入時)10万円以上1円単位　　(追加購入時)1万円以上1円単位 ※別に定める場合はこの限りではありません。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。
ご購入不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入のお申込みの受付は行いません。詳しくは、SMBC日興証券にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休場日　　・ニューヨークの銀行の休業日
信託期間	2050年1月21日まで(当初信託設定日:2018年1月22日) ※委託会社は、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、信託期間を延長することができます。
決算日	毎年1月21日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※分配金再投資コースの場合、原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、SMBC日興証券の定める所定の日よりお支払いいたします。
ご換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、換金申込の受付は行いません。詳しくは、SMBC日興証券にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休場日　　・ニューヨークの銀行の休業日
ご換金代金のお支払い	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

＜ファンドの費用＞

投資家が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、購入口数、購入時手数料率を乗じて得た額です。 購入時手数料率はお申込代金／金額に応じて下記のように変わります。 分配金受取りコース:お申込代金に応じます。(お申込代金は購入価額に購入口数を乗じて得た額です。) 分配金再投資コース:お申込金額に応じます。(お申込金額はお申込代金に購入時手数料(税込)を加えて得た額です。) 1億円未満……3.30%(税抜3.00%)　　1億円以上5億円未満……1.65%(税抜1.50%) 5億円以上10億円未満……0.825%(税抜0.75%)　　10億円以上……0.55%(税抜0.50%) ※別に定める場合はこの限りではありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

投資家が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	運用管理費用の総額=信託財産の日々の純資産総額×年率1.7985%(税抜1.635%) 運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヵ月の終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われますが、日々費用として計上されており、日々の基準価額は運用管理費用控除後となります。 **マザーファンドの投資顧問会社への投資顧問報酬** 委託会社の受取る報酬には、マザーファンドにおいて運用の指図権限を委託している投資顧問会社への投資顧問報酬が含まれます。 投資顧問報酬額=信託財産に属する当該マザーファンドの受益証券の日々の時価総額×年率0.34%
その他費用・ 手数料	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用、目論見書・運用報告書等法定開示書類の印刷、交付および提出にかかる費用、その他の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。 ◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限額等を表示することができません。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧下さい。
※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●当ファンドは、主に株式等値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に、投資する外国の株式の価格変動は、為替の変動を含めて大きくなることがありますので、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、運用実績は市場環境等により変動し、元金を割り込むことがあります。●当ファンドの運用により生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。 ●当ファンドの投資リスクについては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。 ●当ファンドのご購入に際しては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は

BNY MELLON INVESTMENT MANAGEMENT

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第406号
[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会